

運転支援システムの導入について

平成20年1月16日

現行の列車位置検知システムの機能をリニューアルして、貨物列車の位置把握の精度を向上することにより、“お客様への情報提供のサービスアップ”と、機関車に搭載された端末装置により、必要な情報を運転士に提供して、“安全・安定輸送を確立”するために、運転支援システムを導入します。

1. システムの機能概要

(1) 運転士の支援機能（別紙1参照）

運転士の運転操縦を支援する各種機能は、下記のとおりです。

徐行箇所の予告

速度超過警告

駅の発車時間案内

（注）「設定地点通過情報表示」「応急処置」「入出区ルート確認」の機能は、付加機能として、順次追加していきます。

(2) 列車位置情報把握機能（別紙2参照）

GPS衛星を利用した列車位置の情報をお客様や自社で共有化し、貨物列車の位置を正確に把握することにより、災害・事故発生時における遅延状況の把握や平常運転への回復を早めることが可能になります。

2. 使用開始時期

(1) 運転士の支援機能の一部機能は、平成20年3月から東海道線の東京～大阪間で使用開始し、平成20年度末までに全機能の主要線区での使用を予定しています。

(2) 列車位置情報把握機能は、平成20年度末までに主要線区での使用を予定しています。

運転士支援機能

運転席モニター上に
様々な情報を提供



運転士は情報を確認し
正確に業務を遂行する

ACTIS
入力済データ

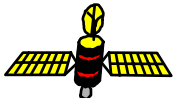


行路別
データ

充
当
車
両
データ

各区所にてデータ書き込み
USBメモリーへダウンロード

GPS衛星



列車位置捕捉

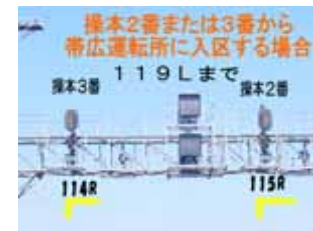
徐行箇所のガイド及び
速度超過警告

駅構内通過画面例



付加機能

入区ガイド例



発車時刻確認!

(画面表示例)

徐行速度注意!

交直セクション注意!

地点/
時刻検出

ブレーキ緩解
発車準備表示

地点/
速度検出

ブレーキ操作
徐行情報表示

地点検出

交直切替
機器扱い注意



< 既存の列車位置検知装置 >

- ・いままでの列車位置検知装置は一部列車及び地域を対象。
- ・列車位置は通常時は30分に1回しか更新されない。
- ・運転士や車両の振替手配や、次仕業列車の遅延を把握したいが、現状では精度向上が出来ない。



運転支援システム導入後

- ・全列車の列車位置がわかる仕組みを構築
- ・列車位置は2分に1回程度としてリアルタイム性を追求。
- ・日々の列車運転計画を含んで遅延等を算出

GPS衛星
日本全国の列車を
対象として
列車位置補足

